GFPグローバル産地港湾等連携輸出拡大委託事業
最終報告書

2022年3月22日(火)

日本航空株式会社

ヤマト運輸株式会社

株式会社ライヴス

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

目次

１．輸出物流実証計画

２．輸出物流実証結果報告

３．現地調査結果

参考資料

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

輸出物流実証計画　~背景・目的

農政局名：本省

受託業者：日本航空

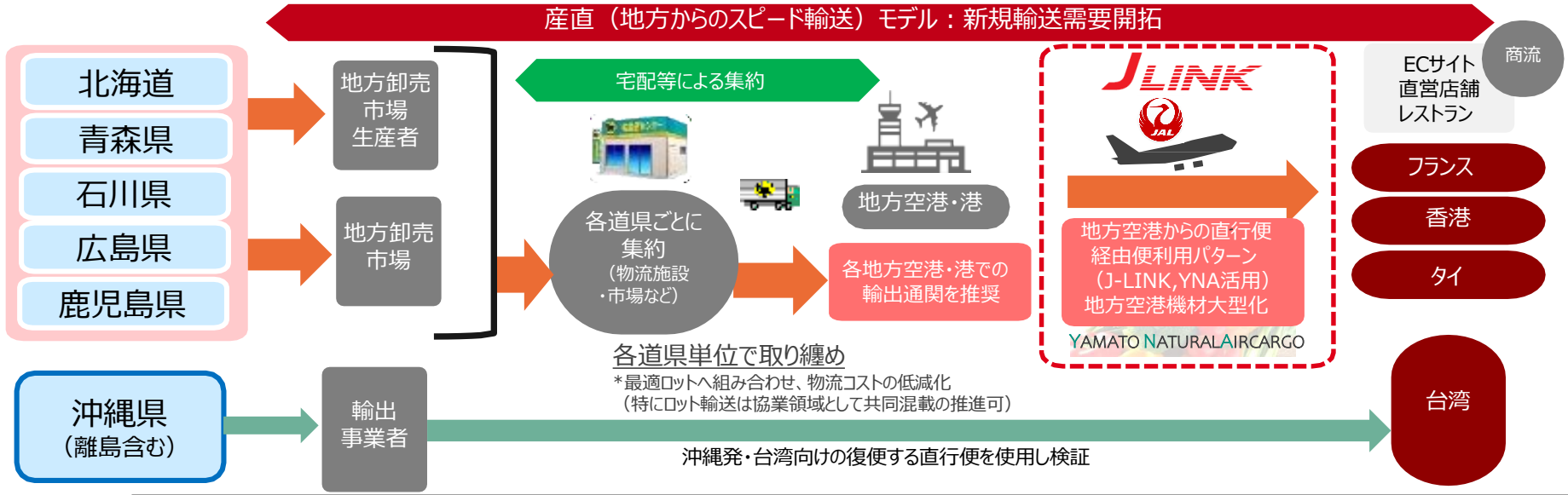
実証タイトル	•人口減少等による航空機材のダウンサイジングを見据えた輸送コスト及び課題の検証
背景	•産地から海外まで迅速に輸送できるかが重要となる中で、地方空港からの航空輸送力の確保が課題となる。 •一方で、地方空港においては、保税蔵置場や保冷設備の不足、通関事務体制の構築など、輸送量増加に適応した体制作りが必要となる。 •航空各社の状況として、旅客需要の減少、羽田・成田の発着枠の拡大、LCCの事業拡大により、今後さらに航空機の「小型化」が想定される。そのような中、農林水産物・食品の輸出拡大を見据えて、貨物需要の増加による機材のタイプアップやチャーター便などの検証を行っていく必要がある。
目的	•国内の物流インフラを整備することで、物流コストの低減、輸送品質向上を実現し、日本産品の輸出に寄与できるか検証し、高品質な輸送を実現する。 •旅客需要減少やLCC事業拡大などにより、就航機材の減便・小型化の状況が継続している中で、航空貨物輸送スペースの減少や、保冷コンテナ搭載不可の機材就航に対して、貨物需要による機材のタイプアップについて、効果及びコストの検証を行う。 •地方から直接輸送できることによりサービスレベルの向上につながり、防腐剤を使用していない期限の短い生鮮食品等の販売期間を確保し、販路機会の創出を図る。
対象品目及び地域	産地空港は輸出が期待される商材を有しているエリアを広域にカバーできる空港を対象とし、輸送実証またはコストシミュレーションを実施する。 北海道（食品全般）、青森県（生鮮品全般）、石川県（食品全般）、広島県（水産品）、長崎県（生鮮品）、鹿児島県（水産品）、沖縄県（食品全般）

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

輸出物流実証計画　~実証内容

実証時期： 12～3月

輸出物流実証の商流と検証ポイント



実証内容

1. 各地における輸出の生産品目の整理・輸出実績の調査
2. 各地方空港における国内便・国際便（コロナ前を前提）の就航状況、供給量・輸送実績（使用実績）などについての調査
3. 各空港における受入体制や便数、機材等の不足ニーズの調査
4. 各地において、通関などを行った上で、海外へ輸出をした際の実コストを輸送実証又はコストシミュレーションにより算出
5. 将来的な予測並びにあるべき姿の検証

→航空会社の機材計画、新幹線延伸、トラック2024年問題などの外的環境を見据えたマクロ的な環境の予測並びに整理

→地方空港からの航空輸送力確保を見据えたあるべき姿の提言。ただし、地域によっておかれている環境が（生産品・立地など）が異なるため、今回の対象地域について、それぞれの地域の強み・弱み、あるべき姿の検証も併せて行う。

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

輸出物流実証計画　~検証ポイント

検証ポイント及び検証手法

（１）農林水産物・食品の国内航空輸送の現状整理

① 国内航空輸送における貨物の積載方法及び積載率の現状整理

② これらを考慮した最適な航空機材選択の調査

（２）離島便を含む農林水産物・食品の航空輸送のニーズ調査

・ 安定的な輸出量の確保のため、地方における農林水産物・食品の出荷量及び季節波動の調査

（３）離島を含む地方空港を活用した物流コストの調査

① 主要空港から地方空港に切り替えた場合の横持国内輸送も考慮した輸送コスト及び通関などの設備の課題検証

② これらを考慮した最適な輸送ルートの検証

（４）上記の調査結果を踏まえた輸送実証または輸送の仮想実験によるコストシミュレーションの実施

① 旅客需要の減少、羽田・成田空港の発着枠の拡大、人口減少（離島部における人口減少含む）による航空機材のダウンサイジングを見据えた輸送コスト及び課題の検証

② 農林水産物・食品の輸出拡大に関する貨物専用機モデルの設定および課題の検証

（５）上記、実験結果を踏まえた効率的な地方空港活用の輸出物流モデルの提案及び与件の整理

©Japan Airlines, ALL rights reserved.

輸出物流実証計画　~スケジュール

	21年10月			11月			12月			22年1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
物流実証（実輸送）								青森・鹿児島・石川発 タイ向け輸送（12/23発）			青森・鹿児島発 タイ向け輸送（1/25発）			青森・鹿児島・広島発 タイ向け輸送（2/15、22）			青森・鹿児島・石川・広島発 タイ向け輸送（3/1）		
												石川発 台湾向け輸送（2/22,3/1発）					青森、鹿児島発 台湾向け輸送（3/8発）	
														青森発 香港向け輸送（2/24）				
航空輸送力確保の実証														沖縄-台湾線の他社機材利用の復便実施（3/3）				
														青森ー羽田路線の大型化実施（2/15、22、3/1、8）				
商品調査・評価												空港へヒアリング			自治体へのアンケート実施			
													現地消費者事業者向けにアンケート実施					
有識者検討会								12/10 第１,2回 検討会										
実証事業進捗報告会																	3/18 報告会	

報告書提出　事業終了

©Japan Airlines, ALL rights reserved.